

科目名	技術者倫理 Engineering Ethics			担当教員	内田由理子，細谷 守		
学 年	1 年	学 期	前期	履修条件	必修	単位数	2
分 野	工学基礎	授業形式	講義	科目番号	10272001	単位区別	学修
学習目標	技術者として身につけるべき倫理規定，法，規約等を理解し，専門職の役割には責任や義務の伴うこと，その影響が自然や社会に及ぶことを，実際に生じた事例を通して学習し，技術の使命が人々の生活の向上や社会的貢献にあり，環境への配慮や世代間倫理の確認を通して，技術者としての倫理的責任を自覚し，考える習慣を身につける。						
進め方	教科書，資料によって主に講義形式で授業を進めるが，また各自が工学倫理について理解を深めるために，討議を行うことや，レポート提出もさせる。資料を得るには，インターネットも有効であるため，随時ウェブの検索等も行わせる。また応用倫理として，生命，環境，ビジネス，情報についての倫理の理解を進める。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1．技術者倫理とは(2)			技術者倫理教育について学ぶ。A1:1-4			
	2．工学の倫理概念(2)			倫理概念，工学の倫理概念等について学ぶ。A1:1-4			
	3．倫理綱領(2)			倫理綱領から技術者が社会に対して負う責任を学ぶ。A1:1-4			
	4．ビジネス倫理(2)			企業の社会的責任について学ぶ。A2:2			
	5．事故調査(5)			事例を通して何が問題であるかを学ぶ。A3:1-4			
	6．施工管理・工程管理(2)			技術者の公正中立の責任について学ぶ。A3:1			
	7．企業秘密(2)			転職のモラル及び守秘義務と公衆の福利について，技術者に求められるべきこと学ぶ。A3:3			
	8．専門的知識の研鑽(2)			安全とリスクに関して技術者が心がけることを学ぶ。A3:2			
	9．知的財産(2)			知的財産権と技術との関連について学ぶ。A2:4			
	10．製造物責任(2)			製造物責任法について，設計上，製造上，指示・警告上の欠陥を防ぐことについて学ぶ。A1:4			
	11．維持管理(2)			技術者の公正中立の責任について学ぶ。A3:1			
	12．社会制度を視野に入れた技術者のあり方(2)			技術者のモラルに関して学ぶ。A3:4			
	13．安全性と設計(2)			安全性を確保のために，設計の段階において配慮すべきことについて学ぶ。A2:1-4			
	14．内部告発(2)			技術者の組織・雇用者への忠誠と不服従・内部告発について学ぶ。A2:1			
前期末試験							
15．答案返却・解答(1)							
評価方法	期末試験 70%，レポート等 30%の比率で総合評価する。						
履修要件	特になし。						
関連科目	倫理社会（本科2年）→政治経済（本科3年）→哲学（本科4年）→法学（本科5年）						
教材	教科書：齊藤 了文 著「はじめての工学倫理」昭和堂						
備考	特になし。						